



しようどしま町



みんなで楽しくオリーブ収穫祭 (オリーブ公園・平成20年10月19日)

議会だより 11

2008年 No.10
平成20年11月1日発行

- 審議議案
一般会計補正予算など P2~3
- 一般質問
10名の議員が質問 P3~7
- 委員会活動報告 P7
- 住民の声・議会日誌など P8



■発行／小豆島町議会 ■編集／小豆島町議会広報編集委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

旧三都小学校に 芸術家村構想実施

第3回定例会を9月17日、18日に開催し、第1日目は一般質問、答弁が行われ、町長から提出された「人権擁護委員の推薦」に同意する案件をはじめ、「条例の一部改正」1件、「平成19年度歳入歳出決算認定」、「町道路線の認定」など8議案が提案されました。

なお、「町道路線の認定」については、18日の建設経済常任委員会に付託し、「決算認定」については、決算特別委員会を設置し、閉会中に審議することになりました。ほかの議案については、原案どおり可決しました。

第2日目は、付託議案の採択や「平成20年度各会計補正予算」など4件が提案され、原案どおり可決しました。

審議した主な議案

人権擁護委員に赤谷勝之氏と 太田久代氏を選任

現在の人権擁護委員の岡脩氏と森口祐三氏が、12月31日をもって任期満了となりますので、その後任として赤谷勝之氏（二面）と太田久代氏（吉野）を選任することに決定しました。

現在の人権擁護委員は、次の方々です。

森川 桂輔氏（西村）
中武 義景氏（安田）
三木 良榮氏（苗羽）
熊坂 泰忠氏（福田）
日向 育子氏（池田）
岡 脩氏（室生）
森口 祐三氏（蒲野）



太田久代氏



赤谷勝之氏

補正予算

一般会計（第2号）

補正予算額は2092万1千円の増額で、補正後の予算総額は7億8952万5千円となります。

補正予算の主なものは、次のとおりです。

○民生費

老人保健事業特別会計繰出金 112万2千円

○商工費

小豆島まつり補助金

113万円

○消防費

消防団員安全備品等助成

国民健康保険事業 特別会計（第1号）

補正予算額は1878万1千円の増額で、補正後の予算総額は19億5380万9千円となります。

これは、19年度精算に伴う療養給付費等交付金の返還金です。

老人保健事業特別 会計（第1号）

補正予算額は112万2千円の増額で、補正後の予算総額は2億9190万円となります。

これは、19年度精算に伴う支払基金事務費交付金等の返還金です。

介護保険事業特別 会計（第1号）

補正予算額は385万9千円の増額で、補正後の予算総額は13億2537万7千円となります。

これは、19年度精算に伴

う国庫負担金等の返還金です。

工事請負契約

改良住宅等改善事業に係る工事請負契約について、請負契約を締結するため、規定により議会の議決を求めるものです。

工事名

橘地区改良住宅G・H棟耐震並びに外壁改修工事
契約金額
6405万円

契約相手

株式会社 西崎組
小豆島町営業所

決算特別委員会を設置

平成19年度決算認定議案が、監査委員の意見書とともに町長から提案され、閉会中に審議することになりました。

決算特別委員会の委員は、次のとおりです。

委員長 井上喜代文
副委員長 安井 信之
委員 藤本 傳夫
委員 中江 正
委員 新名 教男
委員 鍋谷真由美
委員 谷 清
委員 植松勝太郎



町道現地調査

町道の認定

町道田浦海岸線は、将来的に町道として管理する必要があると思われるので、新たに認定しようとするものです。

建設経済常任委員会に付託し、現地調査の結果、原案どおり可決しました。

- ・路線名 田浦海岸線
- ・起点 田浦字南原 甲656番地3
- ・起点 田浦字南原 甲654番地17
- ・延長 52m
- ・幅員 4・0m

一般質問

図書館の借地料は



谷 清 議員

土地の譲渡については、所有者の意思や土地の用途など考えると困難です。

谷議員 年間151万円の借地料だが、築15年を経過して2265万円支払っていることになるが、昔から借りるほど高いものはないと言われている。先々負の遺産とならないように買い取る話はできないのか。

答弁 図書館が建っている宅地が年間100万円、平成54年度までの50年契約とし、駐車場が51万円で20年、共に期間満了後は10年間延長することになっています。



町立図書館（むとす館・安田）

諸事案の委託料について

谷議員 内海中学校体育館建設に設計管理委託料が682万5千円、前年の内海中学校校舎建設に1995万円が計上され、今年度改良住宅改善工事に589万1千円が充てられているが、あまりにも多い委託料の積算基準と算定方法を聞く。

答弁 内海中学校体育館建設・校舎建設・改良住宅改善工事の設計管理委託料は、建物の工事費及び用途により算出した人件費、諸経費などを積み上げたものですが、本町の他の課での建築工事についても相談にのじたりアドバイスも行い、工事の竣工検査にも立ち会っています。

安田小学校の耐震化に関して



森口久士 議員

森口議員 福田地区から統合の条件として、安田小学校の耐震化、スクールバスがあると聞く。耐震工事をすると回答しているようですが、現在、学校再編整備検討委員会で内海地区小学

答弁 学校施設の整備は、将来を託す子どもたちに、どのような教育環境を整備していくかの重大な選択を迫られている問題です。

実施すると、他の耐震化ができていない、苗羽・星城小学校・池田中学校も問題となると思うが。

IS値（構造耐震指標）が0.3未満の安田小学校校舎を、耐震補強をせずに放置することは、安全性確保の面から大きな問題です。「第3次地震防災緊急事業5か年計画」の最終年度、

これらの工事にどのように携わっているのか。

谷 清 議員	鍋谷真由美 議員
森口 久士 議員	村上 久美 議員
浜口 勇 議員	渡辺 慧 議員
植松勝太郎 議員	新茶 善昭 議員
森 崇 議員	中江 正 議員

【傍聴者17名】



安田小学校校舎

有利な財政支援のある、平成22年度までに補強工事を実施します。財政負担を無視できませんが、児童の安全確保が第一です。

池田中学校の教室棟もIS値が0.3未満であるとの一次診断の結果が出ました。検討委員会の中学校部会に

報告し検討をお願いしています。

安全・安心な学校で、よりよい教育環境の中で、学び、成長していくことを最優先に、「再編成整備基本方針」及び「実施計画」を策定します。

橘トンネル工事会社破綻の影響は



浜口 勇 議員

浜口議員 「りんかい日産建設(株)」が会社更生法の申請に至った。負債総額は今年のゼネコン最大規模の破綻だ。工事などの影響はないのか。

答弁 「りんかい日産建設(株)」は裁判所に保全されました。サブプライムローンなど市場の悪化が原因のようです。発注者は香川県ですが、9月9日には発破作業も行われ、変更なく進んでいます。



橘トンネル工事中(国道436号)

福田く姫路航路減便の国、町の対応は

浜口議員 福田く姫路の航路は7時30分が終便となり不便になった。関係町に何の連絡もなく許可をした。こんな運輸行政でよいのか。

答弁 今回の減便問題は、路線バス所管の陸上交通部門にも周知されておらず問題も多くありました。権限は国土交通省にあります。しかし住民生活・地域経済に直結するだけに積極的に意見具申をします。

ふるさと納税

今後のPRは

浜口議員 「ふるさと納税」があつたことを広報で知った。よくPRするほど故郷へ思いがはね返ってくる。町独自の良策を立てるべきだ。

答弁 浜口議員と同じ考えです。町ホームページやチラシで呼び掛けています。小豆島会や錦風会、翠雲会、香川県人会などで機会あるごとにPRします。

バイオスタウンの早期実現へ



植松勝太郎 議員

ている。

一方、家庭の生ごみは焼却場で、し尿は2か所の処理場で処理し、液体は海へ固体は埋立に、これら3施設共に多額の費用を掛け延命工事を行い、また予定されているが、5～10年後には新しい施設が必要ではないか。

原油高・穀物の高騰などで、島内の企業や一般家庭にも経済的ダメージが大き



搬入される燃えるごみ(クリーンセンター)

くのしかかっている。ごみを処分することだけの時代は終わり、現代の化学の応用で有価物、すなわち金(カネ)になることが分かり、多くの自治体で取り組みがなされている。我が町でも早期に取り組む必要があると思われるが。

答弁 ごみの再利用により、現在稼働中の最終処分地の延命化や、次期処理施設の建設費用も含めた経費削減が図れるのであれば大変望ましいことです。ただ、堆肥化商品の利活用や、新たなプラント建設にかかる費用と建設後の維持費など、考えなければいけない点もあります。

一方、食品産業から発生する廃棄物系バイオマスの醤油粕は、飼料化への検討がされていますが、現在、燃料として利用するほうが費用対効果の面で有効です。バイオスタウンとなるためには基準をクリアする要件があり、その現実性などを踏まえ、実現に向けた取り組みを進めます。

地方分権をどう考えているのか



森 崇 議員

森議員 小豆島町を立ち上げた時「今までは国の言いなりになり過ぎた」という説明だった。壺井栄や平井兵左衛門に学ぶ時だ。このままでは、船もバスもホテルも観光も病院も成り立たなくなる。

答弁 本来自治体の自主性と自立性を高めるのが地方分権です。しかし三位一体の改革などで地方交付税は大幅に削減され、財政基盤の充実強化が急務となりました。

全国町村会などを通じて強く要望します。

公務員などの賃金をどう考えているのか

森議員 大阪も岡山も赤字の責任を、働く者にうまく向けている。悪いのは労働者の賃金ということになる。

町は使用者として頑張ることが第一でないのか。

答弁 合併後5年間で適正化のため13・5%削減となっています。皆さんの協力もあり良質な行政サービスを守り、臨時・嘱託職員を含め生活給に手をつけずにきていると考えています。

差別のない小豆島にすべき

森議員 就職や生活を見ると泣きを見るのは、いつも差別された人達だ。生活不安も増加しているのが現実だ。町は差別に対してどんなスタンスなのか。

答弁 憲法14条は「法の下の平等」です。しかし、現実の社会では差別があります。小豆島町の総合計画でも差別のない町をめざします。



保険事業課（内海庁舎2階）

ごみ有料化はやめ、減量化の取り組みを



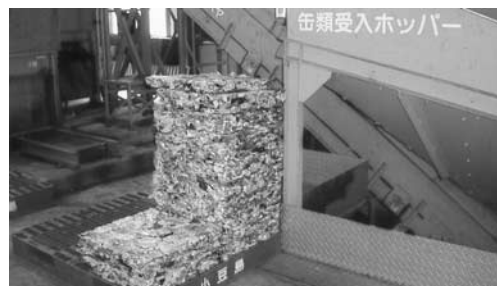
鍋谷真由美 議員

鍋谷議員 有料化では、継続的なごみ減量はできない。「負担の公平化」というなら、生産者にごみ処理費用負担をさせるべきである。

資源・環境問題であるごみ問題解決のために、有料化ではなく、資源ごみ収集箇所の増、分別品目の拡大などごみ減量化の取り組みをすべきではないか。

答弁 不燃ごみ、粗大ごみの有料化は、不公平感を取り除き、ごみ減量化にもつながると期待しています。

リサイクル品目は、広域行政事務組合で協議、検討を行います。資源ごみ収集場所は、適当な場所があり自治会で検討していただけるなら、増やすこともできます。



リサイクルされる資源ごみ（リサイクルセンター）

水道計画は過大ではないのか

鍋谷議員 平成18年度の一日最大給水量は、9159㎡なのに、水道計画では、内海・池田のそれぞれの異なる日の最大配水量の合計の9906㎡としているのはおかしいのでは。

最大配水量が同日になる可能性はほとんどないと考える。

また、配水池を活用することで、まかなえるのではないか。

地域農業再生をめざす取り組みを

答弁 水需要予測自体が、旧内海町と旧池田町それぞれ推計したものを合算する方法で行っているためであり、合併したことで、水の相互融通ができる利点を生

かした水道計画です。

配水池は非常事態に対応する役割もあるので、配水池ではなく浄水場で最大給水量に対応する考えです。



村上久美 議員

被害防止対策協議会」を立ち上げ、防止計画を策定し、対策に取り組んでいます。

棚田については、これまでも支援しており、現在も継続中の補助金及び支援事業をより有効に、また効果的に活用されることをお願いします。

村上議員 今年も猿・鹿による稲などの被害が発生。鳥獣被害を最小限に食い止める実効ある対策が急がれる。関係者との協議で町独自策を含む対策が必要と考えるが。

日本の棚田百選に選ばれている中山千枚田の保全、維持管理が厳しい状況だと聞く。防災や観光面からも棚田に対する多面的な行政の強力な支援が必要と考えるが。

答弁 「小豆島町鳥獣



中山千枚田の風景

庁舎問題は住民への説明 や意向と納得が不可欠

村上議員 庁舎はどのような組織形態であろうが、行政は住民サービスの低下は許されない。
庁舎問題は、住民に十分な説明と住民の意向、納得が不可欠だと考えるが。

答弁 議員の意見を住民代表の意見とするのは当然ですし、自治会長の意見がまったく個人的な意見で住民の意向とかけ離れていると考えたこともありません。
広く意見を伺い、最終的には議会で決めていけばよいと思っています。効果的・効率的が住民サービスの低下との受け止め方も理解しがたいし、説明責任は今後とも果たしていきます。

オリーブ百年祭前半の成果と後半の取り組みは



渡辺 慧 議員

渡辺議員 百年祭を迎えて様々なイベントが繰り広げられている。9月で前半終了となるが、その間の成果は。
また、後半の6か月間に何かビッグイベントを考えては。

答弁 観光各施設は前年対比増加しており、誘客効果が得られています。一過性のイベントに終わらせることなく、年間を通して各種のイベントを実施します。
10月よりオリーブ収穫祭が始まりますが、石倉三郎さんや増田明美さんのご協力を得て、楽しんでもらえるよう考えています。

海上交通について

渡辺議員 9月より土庄～高松間の高速艇の減便、土庄～岡山間の高速艇の廃止など島を取り巻く海上交通問題は大きな影響を与えている。

また、福田～姫路間の最終便の廃止は運送業者にとってもその日に帰島できなかったのが、一泊しなければならぬ場合もあるといった声も聞かれる。

国に対して何らかの助成を強く要望していく必要があるのでは。
答弁 補助基準の見直しや、燃料購入費にかかる国庫、県費補助制度の創設などについて、自民党県支部連合会・県議会議員会に要望書を提出しました。今後新たな支援措置を講ずるよう関係機関、団体などを通じて国や県に要望していきます。



収穫されるオリーブ（オリーブ公園）

不燃ごみと大型ごみの有料化について



新茶 善昭 議員

新茶議員 不燃ごみと大型ごみについて、有料化が一年後に迫っているが、住民にどのように周知するか。

大型ごみについては、収集回数を増やして欲しいという要望があるので、検討すべき。

不法投棄、違反ごみ対策については、山や海への投棄が懸念される。パトロールなど対策を講じては。

答弁 今後、議会での料金の認定、収集の方法などをご審議いただいた以降に、各地区に出向き住民の皆様のご理解をいただきます。

大型ごみの収集は、有料化後は燃やせるもの、燃や



搬出された大型ごみ

せないものに分けて、毎月一回の収集体制を検討しています。収集箇所は今後自治会、地区衛生組織などと協議します。
不法投棄の対応として町広報での啓発、不法投棄防止の看板設置、パトロールの強化などで防止に努めます。

資源の3R社会 構築に向けて

新茶議員 リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（使った物を再資源化しよう）の3R運動を暮らしの習慣として、広く町民に奨励しては。

答弁 「循環型社会形成推進基本法」では、地方公共団体は自然的、社会的条件に応じた施策を策定し取り組みることと定めています。

国民は製品をなるべく長期間使用する・再生品を使用する・循環資源を分別回収することに協力することと定めています。広報でリサイクル情報や啓発運動を進めます。

公共交通が問われているが



中江 正 議員

中江議員 香川県の公共交通は行政主導型によりコミュニティバスが運行されているが、維持基準を下回る路線は、変更や廃止を視野に見直しを検討されている。小豆島バスの生活路線をどのように考えているのか。

答弁 人口の減少や生活様式の変化などにより、路線バスの経営は、大変厳しい状況下にあります。

昨年、国土交通省「公共交通活性化総合プログラム」の採択を受け、公共交通の活性化を図るべく取り組み、各種の提言がありました。

企業自らの意思により積極的な取り組みを期待し、行政のでき得る範囲での支援を惜しむものではありません。

池田地区の 海岸について

中江議員 9月1日は

「防災の日」で全国で取り組みがなされたが、池田地区の海岸についても調査をし、前向きに対応すべきでないか。

答弁 香川県と県内に海岸線を持つ、7市5町が協議のうえ取りまとめた、津波・高潮対策整備推進アクションプログラムを基に、県と連携して取り組み、現在の進捗率は36%（県平均33%）です。

今後、引き続き町の重要施策として取り組みます。

委員会活動報告

常任委員会

教育民生

平成20年8月18日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の出席を求め説明を受けた後、次の意見を出しました。

○ごみの有料化について

小豆圏域で歩調を合わせた対応が必要と考える。施行においては、検討願いたい。

○少子化の取り組みについて

少子化対策部会で検討された事項を実りあるものにするために、議会との協議・連携が必要である。対応願いたい。

特別委員会

交通問題

平成20年8月28日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の出席を求め、調査した。

調査の結果

小豆島3航路（土庄港から新岡山港、土庄港から高松港、福田港から姫路港）の減便について、また、8月19日町長、正副議長、担当課が香川県交通政策課、四国運輸局へ出向き、今回の減便の状況について説明を受けた後、今後は事前に分庁舎方式を続けるか、本庁舎方式に移行すべきか等の協議を行うこと、また、住民への周知は議会だよりを通じて委員会活動のお知らせをすることに決定した。

庁舎問題

平成20年8月13日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の出席を求め、調査した。

調査の結果

庁舎の位置について、合併協定項目に明記されている内容、合併から今日に至る状況を再度確認し、香川県内の合併市町の庁舎のあり方、動向の説明を受け、今後の進め方について協議した。

小豆島の交通問題については単独だけでなく、小豆島全体で考え、他の関係団体にも働きかけ、今後検討していくことを決定した。



田浦～草壁間を走る町営バス

議 会 日 誌

7 月

- 17 議会広報編集委員会（議会だより第9号の編集）
 29 和歌山県那智勝浦町視察研修（議会運営について）

8 月

- 5 小豆郡町議会議員研修会 〔土庄町〕
 8 総務常任委員会（町有地の所在について）
 13 庁舎問題特別委員会
 15 第28回小豆島まつり
 18 教育民生常任委員会（ゴミの有料化についてなど）
 26 四国地区町村議会議長会 〔高松市〕
 28 交通問題特別委員会（小豆島航路減便の経過報告について）

9 月

- 2 小豆郡町議会議長会
 8 香川県町村議会議長会定例会 〔高松市〕
 9 議会運営委員会
 17 第3回定例会（第1日目）
 “ 議会広報編集委員会（議会だより第10号の編集）
 18 建設経済常任委員会（付託議案審査）
 “ 第3回定例会（第2日目）
 “ 全員協議会（水道計画について）
 30 小豆地区広域行政事務組合議会 〔土庄町〕

10 月

- 2 議員定数特別委員会
 9 議会広報編集委員会（議会だより第10号の編集）
 11~12 小豆地区広域行政事務組合議会議員視察研修 〔東京都〕
 17 議会広報編集委員会（議会だより第10号の編集）
 21~22 全国町村議会議長会 〔東京都〕
 23~24 決算特別委員会
 25~26 第3回小豆島町ふるさと商工まつり 〔オーリーブ公園〕
 27 決算特別委員会
 28 議会運営委員会
 30 香川県町議会議員研修会 〔高松市〕
 31 第2回臨時会

住 民 の 声



『南蒲野今昔』

浜岡和彦

（南蒲野自治会長）

私の住んでいる南蒲野地区は、旧池田町三都半島の南端にあります。昭和44年には戸数79戸、人口372人、男性173人、女性199人でしたが、平成20年現在では、戸数70戸、人口169人、男性80人、女性89人と人口は半減しています。現在池田小学校と統合し廃校となりましたが、私が生まれた直後の昭和30年頃三都小学校

は、一学年50〜60人ぐらいの児童がいました。それが昭和40年頃は30〜40人、昭和50年頃には15〜20人と年々減り続け現在南蒲野地区では、全学年でも数人と片手で数えられるほどです。廃品回収でも、他地区から応援に来てもらっているような状況で非常に残念です。近くには花寿波、白浜灯台（釈迦ヶ鼻）があり、よく言えば緑多く風光明媚

媚でとても住みやすい地域です。裏をかえせば、買い物も内海、土庄と家用車で20〜30分走らなければならぬ寂しい田舎です。南蒲野で生まれ、生活し56年になりますが、南蒲野に若者が少しでも多く残ってくれば、たとえば企業誘致があり、人口が増加し発展すれば、会長の職を受けてから四年目に

なりますが、地区住民の方より行政への要望をただ忠実に一生懸命やっているだけですので恥ずかしい限りです。南蒲野地区発展のために何かをしなければ、しかし何をしたらよいのかわかりません。会長職は責任重大です。これからも南蒲野地区の方達のために頑張ろうと思っています。

編集後記

議員定数特別委員会では、議員定数を2名削減する案を、本会議に報告することになりました。

しかし、住民自治を保障する制度として議会があり、議員がいます。私たち町議会議員は、町民にもっと身近な議員として、町民のさまざまな声を行政に反映させ、行政をチェックしていかなくてはなりません。議員数を減らすことは、憲法と地方自治法によって保障された議会制民主主義をおびやかす、住民の利益保護に逆行することになります。

また、財政が大変だから定数削減をという議論にも矛盾があります。見直すべき歳出はほかにもたくさんあります。議会がしっかりと歳出をチェックすることが大事ではないでしょうか。「議員はもっと仕事をすべき」という住民の声もあります。この声に応えるために必要なのは、定数削減ではなく、議会全体の質的向上です。みなさんの願いと期待にこたえる議会改革と議員活動をめざすために力をつくしたいと思っています。

鍋谷真由美 記